

土壁の菜園

來官憲屢々引水に勉めたりしも、如何せん大風の爲め、工事倏ら埋没破壊せられて、遂に成功し得ざりしと云ふ。現に其東南側に風害防禦の爲めに土壁にて圍ひたる數畝の野菜園を見る。然れども五、六、七の三箇月間は、缺水期なるに依り、此の間に收穫すべき菜蔬は、全然之を得ること能はず。獨り其の東側に一泉水ありて、四時涸渴せざる故に、僅に以上の人を棲息せしむ。

一年降雨
二三回

此地三、四月乃至七、八月の交は降雨期なるも一年漸く二三回に過ぎずして、他は概ね旱魃なり。雪は大抵十月頃より始まるが、是れ亦雨と同じく二三回にて絶ゆ。恐るべき大風は、四季を論せず往々當地を見舞ひ、其の最も激烈なるは、三、四月と九、十月との二期とす。襲來の前兆としては、遠地に發砲するが如き音響を聞くと。

暴風の襲
來發砲の
響

白日俄然暗夜と變じ、砰礮の響、浙瀝の音、天裂け地破れたらん如く、捲き揚げられし砂磧は雨と降り、降られては捲かれ、捲かれては降り、山大の沙丘瞬間に消え、無碍の平沙忽然高丘を現出す。古人沙漠を稱して流沙と云ふ實に故あるなり。瀚海若し潮海と異ならずとせば家屋敢て船舶と擇ぶ無し。柱折れ屋蓋浚はるれば、運の拙きこと猶錨を斷たれ舷を破られし船と同じ、之を三道嶺に於ける暴風の狀態

瀚海と流
沙